

井上明生 (いのうえ・あきお)
久留米大学名誉教授。1935年、奈良県生まれ。1961年、大阪大学医学部卒業。大阪大学整形外科准教授、久留米大学整形外科教授を歴任。2001年、柳川リハビリテーション病院院長、2011年、同病院名誉院長。2016年より柳川療育センター名誉顧問を兼務。日本整形外科学会・日本股関節学会・西日本整形災害外科学会の名誉会員。著書に『変形性股関節症は自分の骨で治そう!』（メディカ出版）など。

廣松聖夫 (ひろまつ・まさお)
柳川リハビリテーション病院リハビリテーション科部長。1963年、福岡県生まれ。1989年、東京慈恵会医科大学卒業。同年、久留米大学整形外科学教室入局。2004年より現職。日本リハビリテーション医学会指導医（専門医）、日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医。

ジグリング研究会のホームページ「ジグリング.info」
<http://jigling.info/>

ISBN978-4-908110-05-4
C0047 ¥1000E

定価 **本体1,000円+税**
H&I

「びんぼうゆすり」で変形性股関節症は治る!

人工股関節 にちよっと待った!

変形性股関節症 は治る!

脚を小刻みに動かすだけで
股関節の激痛が消えて
軟骨が再生した例が続出

共著
久留米大学名誉教授
柳川リハビリテーション病院名誉院長
井上明生
柳川リハビリテーション病院
リハビリテーション科部長
廣松聖夫

夜も眠れないほどの股関節の激痛が3ヵ月で消失し人工関節手術を回避できた（53歳・女性）

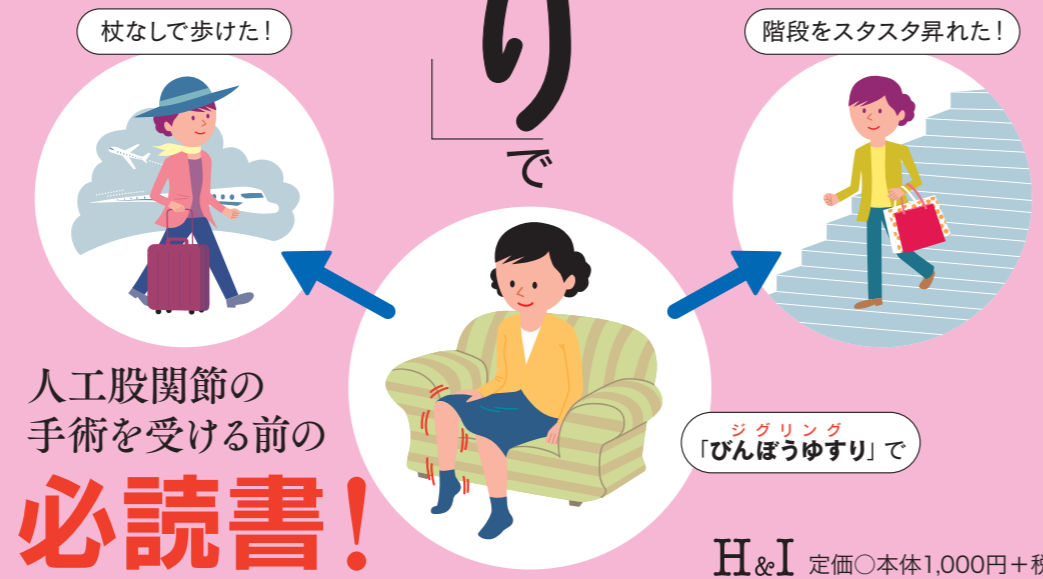
ほかの病院で人工関節以外の治療法はないといわれた変形性股関節症が改善し階段をスタスタ昇れた（41歳・女性）

温存手術後に再発した変形性股関節症が改善し、2年後に股関節のすき間がはっきりと確認できた（71歳・女性）

（本文より抜粋）

井上明生・廣松聖夫

H&I 定価○本体1,000円+税 H&I



これまでの経験と観察から変形性股関節症の患者さんに対するジグリング（びんぼうゆすり）の適用には十分な効果が現れています。しかし、ジグリングという保存療法を積極的に治療に取り入れている医療機関は、現在のところ全国的に見ても決して多いとはいえません。そこで、ジグリングの学術的な検証をさらに進め、ジグリングという保存療法の普及を図るため、2016年3月に全国有数の著名な股関節専門の医師らとともに研究会を立ち上げました。ジグリング研究会の成果を日本から世界へ発信し、世界中の同じ疾患で苦しむ患者さんの治療に役立てることができれば、医師としてこれほど幸せなことはありません。

（あとがきより抜粋）

H&I

「びんぼうゆすり」で変形性股関節症は治る!